

医師体験ニュース

2020.夏号

新型コロナ等の影響でしばらく休止となっていました高校生一日医師体験ですが、8月17日(月)青森高校にて、ようやく開催されました。今回は青森高校、青森東高校の生徒27名が参加し、前半はキットを使った縫合体験・エコー体験。後半は磯島医師の講演と内容の濃いプログラムに、参加した高校生は大満足だったようです。弘前大学医学部5年生の青木さんもサポートとして参加し、大盛況のうちに終わりました。また青木さんは8月25日(火)に、あおり協立病院にて病院見学、心カテ見学を行いました。ご協力いただいた、先生方、各部門の方々、ありがとうございました。

医療体験

磯島医師より、携帯用エコーでレクチャーを受けています。磯島医師の指導にも熱が入り、高校生たちは熱心に耳を傾けています。



感想文より

- ・実際に縫合を行ったり、聴診器を使うことによって、何をするのかイメージが少し持てるようになった。
- ・普段出来ない経験をしてとても楽しかった。縫合やエコーは難しかったが、練習をして上手になりたい。医師になりたいとの意欲を高めることが出来た。
- ・医師体験がしばらくの間中止となっていて、今回初めて参加したが、医師のイメージが明確になり、医師を目指したいという気持ちになった。
- ・普段触れることの出来ないものに触れることが出来てとてもよかった。医師の大変さを知ることが出来た。

磯島医師 講演

『医師とは』『ACP/人生会議』

患者さんに寄り添う医療をテーマに講演しました。

磯島医師の講演は高校生の心に深く突き刺さり、医師を目指すきっかけになったようです。「医師体験にまた参加したい」との多くの声が寄せられました。



感想文より

- ・磯島医師の説明がとてもわかりやすく、地域医療にますます興味を持った。
- ・実際に、聴診器を患者さんにあてて心音などを聞き、とても貴重な体験が出来て、将来医師をめざすきっかけになった。
- ・磯島医師の講演は、普段、インターネットで調べられないような内容まで深く学ぶことができ、とても参考になった。勉強して医学部に入り絶対医師になろうと思った。
- ・実際の症例をあげて講演していただき、医師としての考えなど知ることができた。
- ・医学的知識だけではなく、患者の人生の最期の瞬間まで、少しでも本人にとってより良いものにするために、医師としての接し方を学ぶことが出来てとても良かった。

あおり協立病院医学生実習

